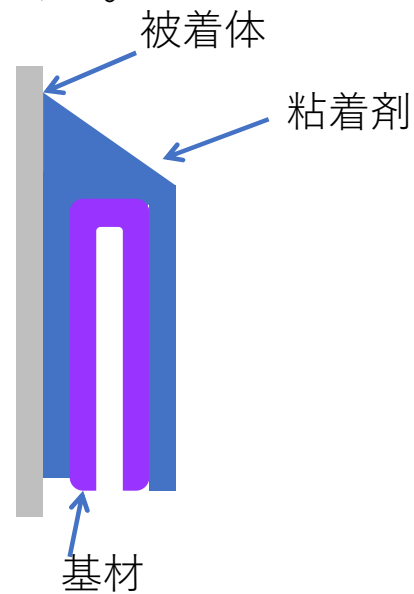


粘着の基本三物性

●粘着の物性①

粘着力

粘着とは「粘着テープまたは粘着シートの粘着面と被着体との接触によって生じる力」と定義される。つまり、「貼った物を剥がす時に必要な力」ということである。



- ① 粘着剤／被着体界面のズレによる荷重
- ② 粘着剤の伸び（変形）による荷重
- ① + ② = 粘着力として算出している。

(Fig.4) 粘着力測定イメージ図



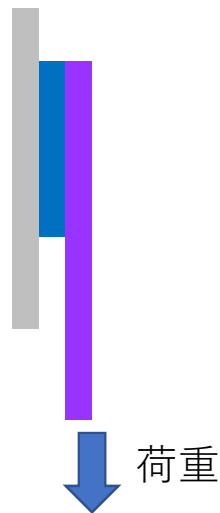
®分子均配膜 ®メークリングル
共同技研化学株式会社

粘着の基本三物性

●粘着の物性②

保持力

保持力とは「粘着テープまたは粘着シートを被着体に貼り、長さ方向に静荷重を掛けた時の粘着剤がズレに耐える力」と定義される。これは、粘着層の凝集力の強さを表している。これが強い粘着剤は、一般に糊残りを起こしにくいと言われる。



- ①長さ方向への変形に対する耐性
- ②粘着剤の硬さ
- ①、②を併せた性能評価項目

(Fig.5) 保持力測定イメージ図



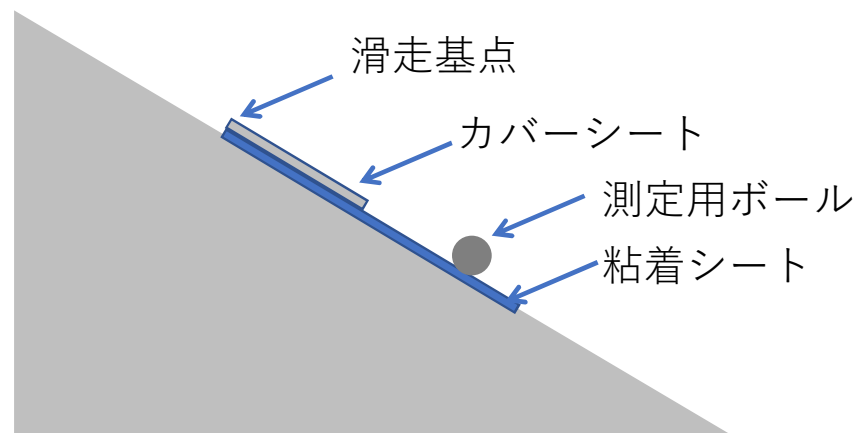
®分子均配膜 ®メークリングル
共同技研化学株式会社

粘着の基本三物性

■粘着の物性③

ボールタック

タックは「粘着剤の主要性質の一つで、軽い力で短時間に被着体に粘着する力」と定義される。つまり、「ベタツキ」である。ベタツキと粘着力は、全く別の要素であり、付箋紙のようにベタツキが多くても粘着力が低いものもある。



(Fig.6) ボールタック測定 イメージ図

